

余熱利用プール地元優待割引制度廃止後の新たな割引について

平成21年2月20日の市民活力推進・教育委員会において、余熱利用プールの地元優待割引制度が廃止された場合の対応について検討中である旨御報告しましたが、このたび、具体的な対応案がまとまりました。

1 新たな割引導入の考え方

- (1) 地元優待割引が導入された経緯を踏まえ、割引を利用されてきた方の急激な負担の増加とならないよう配慮します。
- (2) 監査委員の指摘を踏まえ、収支の赤字が現状より拡大しないよう配慮します。
- (3) 60歳以上の利用割合が高い状況を踏まえ、「濱ともカード」(市内在住の65歳以上の方に交付)を提示いただいた方を対象とした割引料金を設定します。
- (4) 子どもやリピーターに配慮し、回数券又はプリペイドカードを導入します。(旭、港南、栄、保土ヶ谷及び都筑の5プールは回数券、リネツ金沢はプリペイドカード)
- (5) 障害がある方に配慮し、引き続き割引を実施します。

【参考1】余熱利用プールの現行料金

○旭、港南、栄、保土ヶ谷、都筑プール

	通常料金	地元優待 割引後料金
大人	400円	200円
子ども (3歳以上中学生以下)	100円	50円

○リネツ金沢

	利用区分	通常料金	地元優待 割引後料金
大人	プール	600円	400円
	浴場	600円	400円
	セット利用 (プールと浴場)	1,000円	800円
子ども (3歳以上中学生以下)	プール	300円	200円
	浴場	300円	200円
	セット利用 (プールと浴場)	500円	400円

2 地元優待割引制度廃止後の新たな割引について

(1) 5プール（旭、港南、栄、保土ヶ谷、都筑プール）

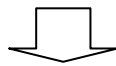
ア 大人の割引

(ア) 高齢者割引の導入

地元優待割引制度の廃止により、割引料金でご利用いただいていた方にも通常料金をご負担いただくこととなりますが、高齢者の御利用が多い現状を踏まえ、新たに「濱ともカード」（市内在住の65歳以上の方に交付）を提示いただいた方を対象とした割引料金を設定します。

A 現行

大人通常料金	地元優待割引	
	割引後料金	割引率
400円	200円	50%



B 地元優待割引制度廃止後

大人通常料金	濱ともカード割引	
	割引後料金	割引率
400円	200円	50%

(イ) 回数券の導入

リピーターの方の利用が多い状況を踏まえ、回数券を導入します。

A 現行

大人通常料金	地元優待割引	
	割引後料金	割引率
400円	200円	50%



B 地元優待割引制度廃止後

大人通常料金	大人回数券		
	400円	販売額	2,000円
		枚数	400円×8枚
		1枚あたりの料金	250円
割引率		37.5%	

イ 子どもの割引

地元優待割引制度の廃止により、割引料金でご利用いただいていた方にも通常料金をご負担いただくこととなりますが、子ども（3歳以上中学生以下）の利用が多い実態を踏まえ、子ども用の回数券を導入します。

A 現行

子ども通常料金	地元優待割引	
	割引後料金	割引率
100 円	50 円	50%



B 地元優待割引制度廃止後

子ども通常料金	子ども回数券	
	100 円	販売額
枚数		100 円×16 枚
1枚あたりの料金		62.5 円
割引率		37.5%

ウ 障害がある方の割引

障害がある方（児・者）のご利用については、引き続き障害者割引として料金を半額にします。また、介助者1名は無料とします。

(2) リネット金沢

ア 大人の割引

(ア) 高齢者割引の導入

地元優待割引制度の廃止により、割引料金でご利用いただいていた方も通常料金でご負担いただくこととなりますが、高齢者の御利用が多い現状を踏まえ、「濱ともカード」(市内在住の65歳以上の方に交付)を提示いただいた方を対象とした新たな割引料金を設定します。

A 現行

利用区分	大人通常料金	地元優待割引	
		割引後料金	割引率
プール	600円	400円	33.3%
浴場	600円	400円	33.3%
セット(プールと浴場)	1,000円	800円	20.0%

B 地元優待割引制度廃止後

利用区分	大人通常料金	濱ともカード割引	
		割引後料金	割引率
プール	600円	400円	33.3%
浴場	600円	450円	25%
セット(プールと浴場)	1,000円	800円	20%

※ 銭湯入浴料:大人 450円

(イ) プリペイドカードの導入

リピーターの方の利用が多い状況を踏まえ、プリペイドカードを導入します。

A プリペイドカードの内容

販売価格	2,400円
利用可能額(額面)	3,000円
	※大人通常料金 600円の5回分 ※子ども通常料金 300円の10回分
割引率	20.0%
利用可能範囲	プール、浴場、セット利用

B 現行

利用区分	大人通常料金	地元優待割引	
		割引後料金	割引率
プール	600円	400円	33.3%
浴場	600円	400円	33.3%
セット(プールと浴場)	1,000円	800円	20.0%

C 地元優待割引制度廃止後

利用区分	大人通常料金	プリペイドカード	
		利用時の単価	割引率
プール	600円	480円	20.0%
浴場	600円	480円	20.0%
セット(プールと浴場)	1,000円	800円	20.0%

※ 銭湯入浴料:大人 450円

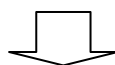
イ 子どもの割引

地元優待割引制度の廃止により、割引料金でご利用いただいていた方も通常料金でご負担いただくこととなりますが、子ども（3歳以上中学生以下）の利用が多い状況を踏まえ、プリペイドカードを導入します。

（カードは大人と共通に使用できるもので、内容は前ページ（イ）A「プリペイドカードの内容」と同じ）

A 現行

利用区分	子ども通常料金	地元優待割引	
		割引後料金	割引率
プール	300 円	200 円	33.3%
浴場	300 円	200 円	33.3%
セット(プールと浴場)	500 円	400 円	20.0%



B 地元優待割引制度廃止後

利用区分	子ども通常料金	プリペイドカード	
		利用時の単価	割引率
プール	300 円	240 円	20.0%
浴場	300 円	240 円	20.0%
セット(プールと浴場)	500 円	400 円	20.0%

※ 銭湯入浴料:子ども 180 円

ウ 障害がある方の割引

障害がある方（児・者）のご利用については、引き続き障害者割引として料金を半額にします。また、介助者1名は無料とします。

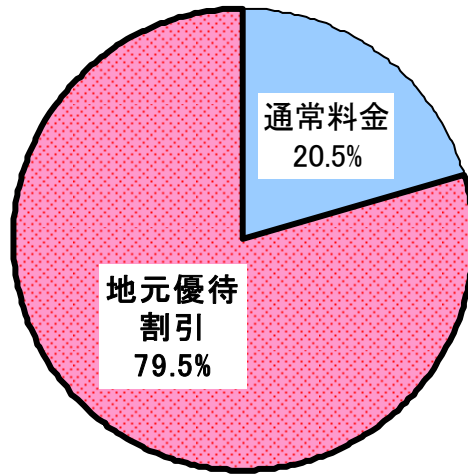
3 新たな割引の導入時期について

地元優待割引制度の廃止にあわせて導入します。（平成 21 年 10 月 1 日を予定）

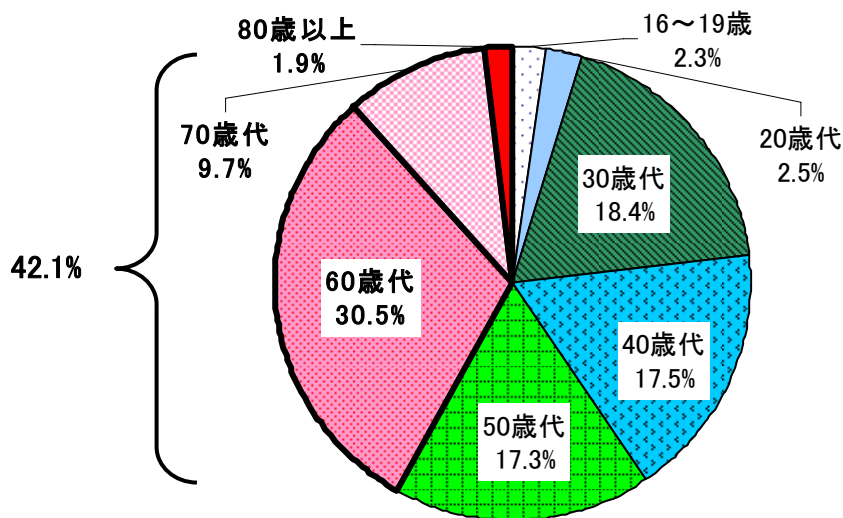
余熱利用プールの利用状況

(平成 21 年 2 月 20 日市民活力推進・教育委員会資料をグラフ化)

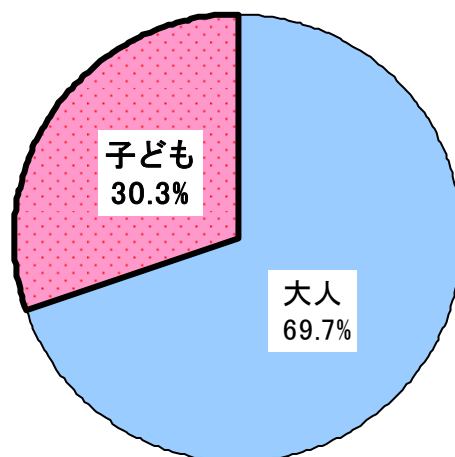
- 1 地元優待割引は、平成 19 年度実績では個人利用者の約 80%が利用しています。



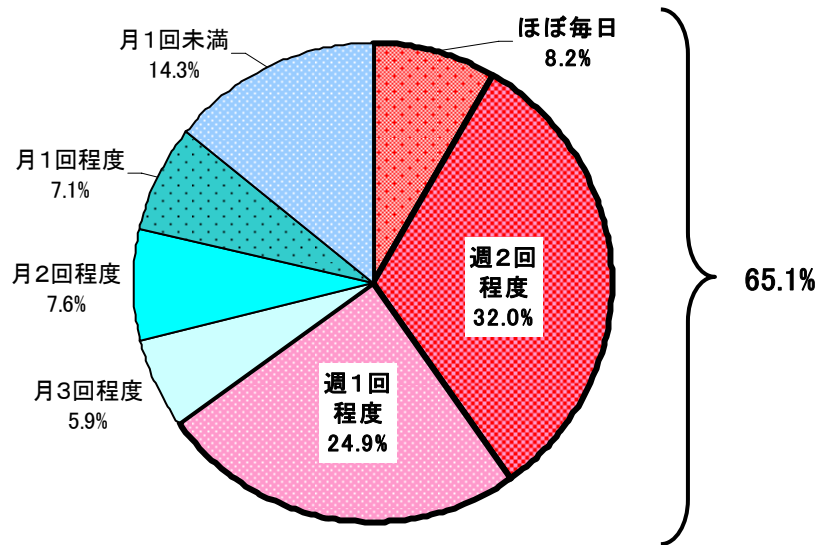
- 2 平成 19 年度に実施した利用者アンケートでは、60 歳以上の割合は、大人の利用者の 42.1%を占めています。



- 3 平成 19 年度利用実績では、全体で 777, 436 人の利用者数のうち、3 歳以上中学生以下の子どもの利用者数は 235, 649 人で、30.3%を占めています。



4 利用者アンケートにおいては、週1回以上の利用者は65.1%となっています。



5 利用者アンケートにおいては、プールを利用する目的として1番多いのが、「健康増進のため」の32.3%で、「レジャー」との回答6.1%の5倍以上にのぼっています。

